

令和5年10月20日
西日本高速道路株式会社

E2 山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会 ～第3回技術検討会の結果について～

E2 山陽自動車道(E2 山陽道)は、^{あまこやま}尼子山トンネル(下り線)内火災の影響により、9月5日から^{はりま}播磨ジャンクション(JCT)～^{あこ}赤穂インターチェンジ(IC)間の下り線で通行止めとなっています。

被災状況把握のための調査の結果、火災の影響によるトンネルの損傷が甚大であり、通行止め解除まで相当の期間を要する見込みです。

安全性の確認や復旧方法の検討のため、西日本高速道路株式会社は、学識者による「山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会」を立ち上げ、検討を行っているところです。

本日開催した第3回技術検討会の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。

1. 日 時 令和5年10月20日(金) 13:00～15:00
2. 場 所 関西支社姫路高速道路事務所 会議室
住所 兵庫県姫路市相野941-103
3. 結果概要 別紙1のとおり
4. 委 員 別紙2のとおり
5. そ の 他 本技術検討会の開催履歴及びう回情報等は以下サイトにてとりまとめております。
https://www.w-nexco.co.jp/sanyo_fire_closure/

山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会

第 3 回技術検討会の結果概要

1. 復旧作業の状況

○復旧作業については、順調に進捗していることを確認した。

2. 報告内容

○トンネル覆工に関する追加の調査を基に、第 2 回検討会で示された復旧方針を踏まえて詳細に検討し、計画が策定されていることを確認した。

○具体的な復旧計画に基づく、今後の作業内容を確認した。

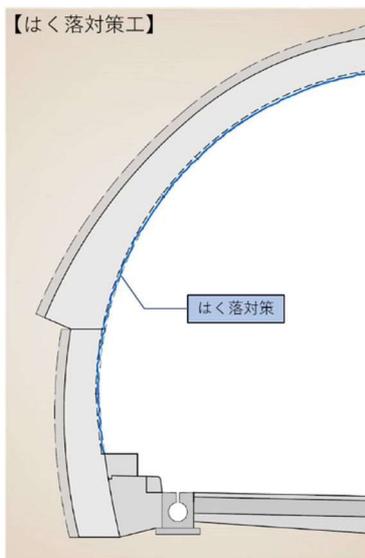
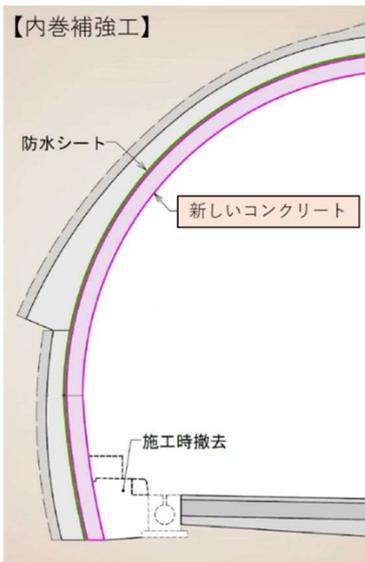
3. 今後の予定

○トンネル復旧作業の施工状況及び、開通後のモニタリングについて、第 4 回検討会にて確認・審議を行う。

復旧作業状況



標準的な補修工法の概略図



■ 覆工コンクリート表面からの影響が深い箇所
損傷したコンクリートを除去し、新しいコンクリートを打設



■ 覆工コンクリート表面からの影響が浅い箇所
落下の可能性のあるコンクリートをはつり落とし、塗布系材料を用いて覆工を防護



山陽自動車道 ^{あまこやま} 尼子山トンネル火災事故技術検討会 委員名簿

あぐたがわ しんいち
芥川 真一 神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授

いさご のぶはる
○砂金 伸治 東京都立大学都市環境学部 都市基盤環境学科 教授

おおやま おきむ
大山 理 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科 教授

きしだ きよし
岸田 潔 京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻都市基盤システム工学専攻 教授

くさか あつし
日下 敦 国立研究開発法人土木研究所 上席研究員

なかの きよと
中野 清人 株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル担当部長

にしだ ひであき
西田 秀明 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室 室長

やまざき てつや
山崎 哲也 株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究室 室長

(○は委員長)

(50音順、敬称略)